

京都大学文学部卒業生アンケート集計結果

令和3年3月実施

京都大学文学部・文学研究科では、卒業時・修了時にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。卒業生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

【結果の概評】

今年度は卒業生247名に対して155名から回答がえられた。回答率は62.8%にとどまり、昨年度(80.4%)、一昨年度(88.8%)につづいて、二年連続で回答者の比率が低下した。

内容をみると、文学部の授業に対する評価は全般的に高く、多くの項目で昨年度を上回る結果となった。令和2年度はオンラインやオンデマンド方式の授業が主流となったが、教員の工夫と尽力により、以前に増して授業が充実したと考えられる。

主要項目では、Q.02「京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか」に対して、72.3%の学生から「十分に」または「ある程度」そのような形で行われているとの回答があった。またQ.03「あなたは文学部で学んだことに満足していますか」でも、90.3%が「充分」または「それなりに」と回答しており、文学部の教育がその役割を果たしていることがうかがえる。

Q.05「文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？」(複数回答可)では、「一般的な教養」(67.1%)、「自分で問題を発見し、解決を図る能力」(58.1%)、「専門的知識」(46.5%)が高い比率を維持していた。ここにも文学部の教育の特長が表れていると言える。一方、「専門分野の研究能力」(36.8%)、「外国語の能力」(21.3%)は、修士課程修了生のアンケート結果(66.2%、32.4%)に比べて低い数字にとどまっている。どちらの項目も昨年度よりは数値があがっているが、学部教育における課題としてひきつづき留意する必要があると思われる。

文学部のディプロマ・ポリシーの達成状況(Q.07-10)についても、すべての項目で前年度を上回る結果となった。項目によって多少の差はあるが、60%代後半から70%台前半の割合で「達成できた」または「ある程度達成できた」という回答が寄せられた。

全学共通科目(Q.11-15)については、全体としてほぼ例年並みの結果となった。「専門以外の幅広い知識・教養」(Q.11)と「専門分野で基礎となる学力」(Q.12)にかんしては、「大いに」または「ある程度向上した」が80%を超えており、全学共通教育がその基本的な役割を果たしていることが分かる。一方「英語の能力(英語以外の言語を第1外国語とした方は、その言語の能力)」については「大いに」または「ある程度向上した」が半数にと

どまっており、やや改善の余地が認められる。

【自由記述欄】

昨年度と同様、京都大学の学風の変化を指摘する声が複数寄せられた。また共通教育の英語・第二外国語の授業に対する意見、授業料に対する批判、アンケート項目に対する指摘など留意すべき記述があった。

アンケート名 令和2（2020）年度卒業生アンケート

部局 文学部

対象者数 247

回答者数 155

回答率 62.8

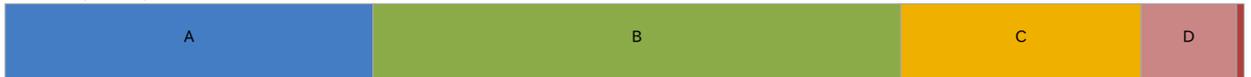
結果 (Q.01) あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？

- A: はい (76票/49%)
- B: いいえ (76票/49%)
- C: 無回答 (3票/1.9%)



(Q.02) 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか？

- A: 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている (46票/29.7%)
- B: 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている (66票/42.6%)
- C: どちらとも言えない (30票/19.4%)
- D: 自学自習の能力が養われるような形で行われていない (12票/7.7%)
- E: その他 (1票/0.6%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.03) あなたは文学部（特に所属専修）で学んだことに満足していますか？

- A: 十分に満足している (56票/36.1%)
- B: それなりに満足している (84票/54.2%)
- C: どちらとも言えない (13票/8.4%)
- D: 後悔している (2票/1.3%)
- E: その他 (0票/0%)
- F: 無回答 (0票/0%)



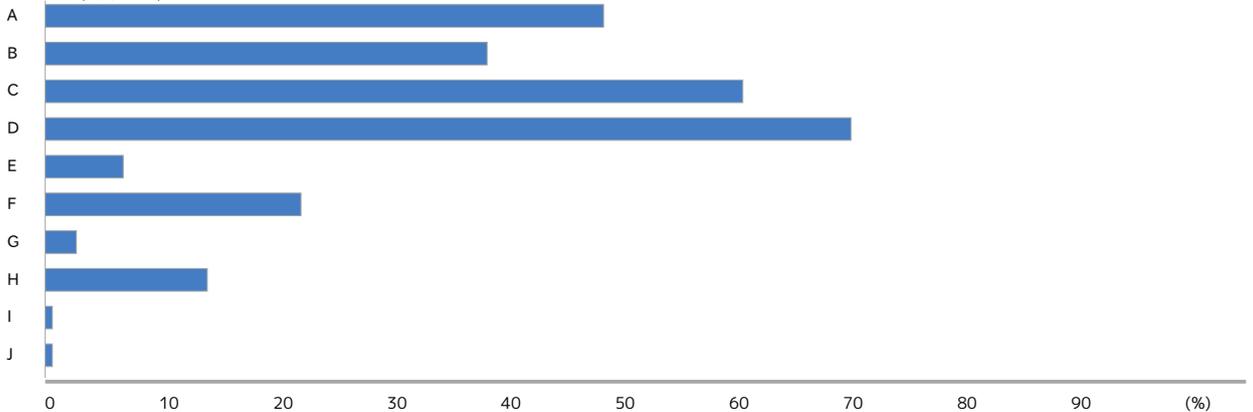
(Q.04) 4月以降の進路についてお聞きします。

- A: 大学院進学（他大学も含む） (37票/23.9%)
- B: 一般企業に就職 (80票/51.6%)
- C: 官庁、地方自治体等に就職 (12票/7.7%)
- D: 教員、司書等の専門職に就職 (5票/3.2%)
- E: その他 (1票/0.6%)
- F: 無回答 (20票/12.9%)



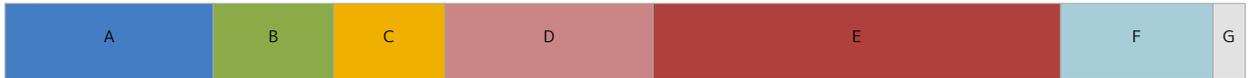
(Q.05) 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？（複数回答可）

- A: 専門的知識 (72票/46.5%)
- B: 専門分野の研究能力 (57票/36.8%)
- C: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (90票/58.1%)
- D: 一般的な教養 (104票/67.1%)
- E: 国際感覚 (10票/6.5%)
- F: 外国語の能力 (33票/21.3%)
- G: リーダーシップ (4票/2.6%)
- H: 社会的常識 (21票/13.5%)
- I: その他 (1票/0.6%)
- J: 無回答 (1票/0.6%)



(Q.06) 差し支えなければ、あなたが所属していた系を教えてください。

- A: 哲学基礎化学系 (26票/16.8%)
- B: 東洋文化学系 (15票/9.7%)
- C: 西洋文化学系 (14票/9%)
- D: 歴史基礎化学系 (26票/16.8%)
- E: 行動・環境文化学系 (51票/32.9%)
- F: 基礎現代化学系 (19票/12.3%)
- G: 無回答 (4票/2.6%)



(Q.07) 以下、Q.07からQ.10で、文学部のディプロマポリシーに関してお伺いします。以下の項目についてどの程度達成できたか教えてください。

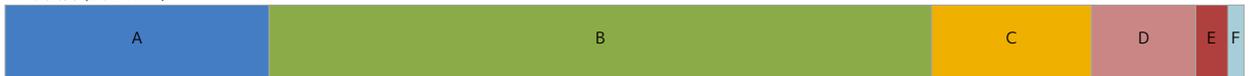
人文学に関わる基礎的学識を有し、その専門領域としての哲学・歴史学・文学・行動科学について深い理解力を持ち、また学修成果を卒業論文として集大成できる問題探求能力、分析能力、表現能力を身につけている。

- A: 達成できた (31票/20%)
- B: ある程度達成できた (75票/48.4%)
- C: どちらとも言えない (19票/12.3%)
- D: あまり達成できなかった (21票/13.5%)
- E: 達成できなかった (6票/3.9%)
- F: 無回答 (3票/1.9%)



(Q.08) 人文学に関わる課題について、問題を発見し解決する力具备、創造的に取り組むことができる。

- A: 達成できた (33票/21.3%)
- B: ある程度達成できた (83票/53.5%)
- C: どちらとも言えない (20票/12.9%)
- D: あまり達成できなかった (13票/8.4%)
- E: 達成できなかった (4票/2.6%)
- F: 無回答 (2票/1.3%)



(Q.09) 人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に貢献することができる。

- A: 達成できた (34票/21.9%)
- B: ある程度達成できた (70票/45.2%)
- C: どちらとも言えない (34票/21.9%)
- D: あまり達成できなかった (9票/5.8%)
- E: 達成できなかった (6票/3.9%)
- F: 無回答 (2票/1.3%)



(Q.10) 自由で批判的な精神と良識を具備、人類が直面する課題を直視し、問題の解決に積極的に寄与することができる。

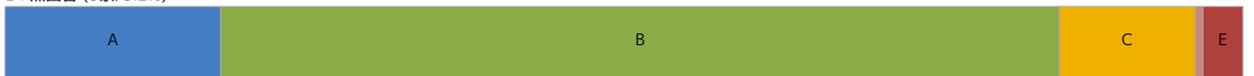
- A: 達成できた (36票/23.2%)
- B: ある程度達成できた (73票/47.1%)
- C: どちらとも言えない (28票/18.1%)
- D: あまり達成できなかった (11票/7.1%)
- E: 達成できなかった (4票/2.6%)
- F: 無回答 (3票/1.9%)



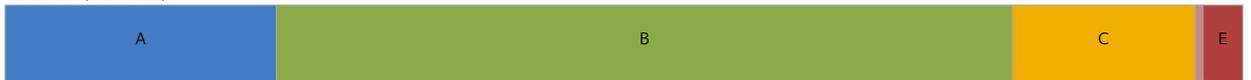
(Q.11) 以下、Q.11からQ.15で、全学共通科目の学習に関してお伺いします。入学当初と比べ、以下の項目はどの程度向上した又は得られたと思いますか。(一つ選択。無回答も許可する。)

専門以外の幅広い知識・教養

- A: 大いに向上した (27票/17.4%)
- B: ある程度向上した (105票/67.7%)
- C: あまり向上しなかった (17票/11%)
- D: 全く向上しなかった (1票/0.6%)
- E: 無回答 (5票/3.2%)



- (Q.12) 専門分野で基礎となる学力
 A: 大いに向上した (34票/21.9%)
 B: ある程度向上した (92票/59.4%)
 C: あまり向上しなかった (23票/14.8%)
 D: 全く向上しなかった (1票/0.6%)
 E: 無回答 (5票/3.2%)



- (Q.13) 英語の能力 (英語以外の言語を第1外国語とした方は、その言語の能力)
 A: 大いに向上した (22票/14.2%)
 B: ある程度向上した (57票/36.8%)
 C: あまり向上しなかった (58票/37.4%)
 D: 全く向上しなかった (13票/8.4%)
 E: 無回答 (5票/3.2%)



- (Q.14) 初修外国語の能力
 A: 大いに向上した (27票/17.4%)
 B: ある程度向上した (80票/51.6%)
 C: あまり向上しなかった (38票/24.5%)
 D: 全く向上しなかった (5票/3.2%)
 E: 初修外国語は修得しなかった (0票/0%)
 F: 無回答 (5票/3.2%)



- (Q.15) 将来の研究分野や進路を決める手がかり
 A: 大いに得られた (30票/19.4%)
 B: ある程度得られた (69票/44.5%)
 C: あまり得られなかった (43票/27.7%)
 D: 全く得られなかった (8票/5.2%)
 E: 無回答 (5票/3.2%)



(Q.16) その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。